

---

# 管理運営のあり方について（案）

---

平成24年8月10日（金）

## (1) (仮称)市民図書館の運営方針

(仮称)市民図書館の基本理念と基本方針（「中間報告書」を参照）を実現するために、次の運営方針に基づいて図書館運営を行うことが必要である。

### ア 各種サービスの核となる職員の配置、体制整備

---

#### (7) 図書館司書の確保

- 一般的な利用案内から専門的な調査研究まで対応ができる幅広い知識と豊富な経験を有する職員を配置する。
- 特に、次代を担う子どもへのサービスや、明石の郷土資料については、高い能力を有する職員を配置する必要がある。
- さらに、それらの職員には、所蔵資料に基づくレファレンス・サービスへの対応はもちろんのこと、外部の機関との連携や、レフェラル・サービスを提供できる知識を持つことが求められる。
- 上記を実現するため、必要な図書館司書を確保する必要がある。  
司書の知識・能力を高める研修等を継続的に実施し、または、外部研修への参加を促進し、多様化する時代の要請に応えるとともに、専門的知識を常に維持し向上させる体制を確保することが求められる。

#### (イ) 企画力のある職員の確保

- 広報活動や、イベント実施などを通して、情報発信を行うための職員体制の整備を行う。
- 多様化する利用者のニーズを的確に把握し、そのニーズに対応したイベントを企画できる能力を有する職員を確保する。

#### (ウ) 迅速かつ高品質のサービス提供が可能な体制の整備

- 登録手続、貸出・返却手続、図書の予約などの利用者へのサービスについて迅速かつ的確に実施できる職員を配置する。
- 検索や貸出・返却手続等の定型的なサービスについては、可能な限り省力化を図りつつ、迅速で利用者にとっても利便性の高いものを提供する。
- 利用者用の検索機については、児童から高齢者まで、誰もが使いやすいものとする。
- 開館時間帯、利用者層に対応した柔軟な人員配置。

## イ 明石駅前再開発ビルに立地する図書館としての特性

---

### (ア) 利便性の高い利用条件（開館日、時間等）

- （仮称）市民図書館は、明石駅前に立地する再開発ビルの中に設置するため、現在の図書館を利用していなかった市民等も利用し、利用者数も大きく増加すると考えられる。このため、開館日の拡大、開館時間の延長等を図り、利用者の利便性にこたえていく。

### (イ) 明石駅前再開発ビル全館図書館プランの中核機能の確保

- 「明石駅前再開発ビル全館図書館プラン」の推進の中核として、再開発ビル内の公共施設のみならずビル内のすべてのフロアと連携する機能を確保する。
- 確保する機能は、図書館内だけでなく、（仮称）イベント広場での図書情報やイベント情報の発信、各フロアへの図書コーナーなどの整備も行う。

### (ウ) あらゆる人が利用しやすい図書館

- アクセスの良い場所に立地することから、現在の図書館にもまして、高齢者、身体障害者の利用がふえると考えられる。これらの利用者にとって利用しやすい図書館となるよう、施設全体をユニバーサル・デザインにするとともに、手話のできる職員、簡易点字によるサービス、対面朗読サービスなどを提供する。
- 利用者の安全性を高めるため、防犯対策を講じるとともに体制の整備を図る。
- 利用者の多国籍化を想定し、外国語図書の収集に配慮するとともに、職員の外国語能力を向上する。

## ウ 子どもへのサービスの充実

---

### (ア) 子どもの安全性の確保

- 子どもが安心して読書や図書に親しめるよう設備環境やカウンター等からの見通しなど安全性に配慮した施設レイアウトにするとともに、常に子どもを見守ることができる体制を確保する。

### (イ) 図書への興味や、読書習慣を身につける雰囲気づくり

- 子どもが図書館に入館しただけで、図書に触れ、読書をしたくなる雰囲気をつくり、図書に興味を持ち、読書習慣を身につける場所となるよう、施設や運営体制の整備を図る。
- 落ち着いた環境の中で自ら読書できることはもちろん、保護者や友だちなどとともに、図書に親しむ雰囲気づくりを行う。

### (ウ) 学校図書館への支援強化

- 子どもの読書活動や学習活動を支援する学校図書館との連携を強化するため、学校図書館とのネットワークづくり、学校図書館への支援を行う人づくり、物流等の体制づくりを行う。

## エ 他機関、他組織との連携

---

### (ア) 他の図書館、専門機関との連絡・協力

- 利用者の多様なニーズにこたえるため、県立図書館や文化博物館、天文科学館などの施設のほか他市の図書館、大学図書館、専門機関等との連携を図る。

### (イ) 読書推進を担うボランティアの育成、人づくり

- おはなし会等、子どもと本をつなぐ行事をボランティアグループとの協働により開催し、読書推進を進める拠点とする。
- 研修会の開催など、ボランティアの養成や技能向上を図り、読書推進を担う人づくりを進めて

行く。

## オ 情報発信

---

### (7) 多様な情報発信の強化

- 図書館だより、市広報紙、インターネットのホームページなど、様々な手段や機会を通じて、効果的な広報活動・情報発信を行う。
- 人とまちを支える情報拠点として、様々な情報発信やイベントを企画・実施する。

## カ 図書の充実

---

### (7) 蔵書の充実

- 蔵書内容の充実と、蔵書数の拡大を図る。
- 資料の選択・収集は、基本的な蔵書構成の維持に留意するとともに、利用者の予約やフロアワーク、イベントなどを通じた利用者ニーズの把握に基づいて実施する。
- 除籍は、利用頻度や内容の重複等を含め、資料的価値を適切に判断し行う。

### (イ) 資料購入費の充実

- 基本図書の充実はもちろん、多様な利用者のニーズにこたえ、図書館が明石市の情報発信拠点としての役割を発揮できるよう、必要とされる情報や資料の収集に必要な資料購入費を確保する。